

# 計画の意義

国道49号は、太平洋側と日本海側を結ぶ主要幹線道路であり、県内の沿線市町と新潟市を結び地域経済・日常生活を支える重要な役割を果たしています。

東蒲原郡阿賀町大牧～黒岩の区間は急峻な岩盤斜面が阿賀野川に迫っていることから、線形が悪く、土砂災害、岩石崩落及び雪崩等の危険性が高い本尊岩・谷花地区を通過する他、連続雨量150mmによる事前通行規制区間など多くの問題を抱えています。

国道49号揚川改良は、これらの問題を解消し、安全で円滑な交通を確保するために実施しています。

# 祝開通

# 一般国道49号 揚川改良

## 国道49号揚川改良による整備効果

### 1 安全で安心な道路になります!

揚川改良の開通により、本尊岩・谷花地区を通行する必要がなくなります。

岩石崩落<sup>※1</sup>の被害を回避することができ、安全で安心な道路となります。

※1：阿賀町本尊岩・谷花地区には、特に岩石崩落の危険性が高い箇所が現在も存在しています。



本尊岩・谷花地区の岩石崩落危険箇所

### 2 信頼性が向上します!

揚川改良の開通により『事前通行規制区間<sup>※2</sup>』を回避することができます。

これにより、主要幹線道路としての信頼性が向上します。

※2：『過去の災害等の発生状況により、一定区間で気象条件等による規制基準を設け通行止めなどの規制を実施する区間』をいいます。本尊岩・谷花地区の規制基準は、連続雨量150mm以上又は雪崩が発生するおそれがあるとき、となっています。



大雨による通行止め(平成16年7月新潟・福島豪雨)

### 3 走行性が向上します!

揚川改良の開通により、狭隘な区間や曲線半径の小さいカーブ<sup>※3</sup>が解消されます。

これにより、走行性が向上し、快適に走行できるようになります。

※3：現在の国道49号には曲線半径R≤100mの厳しいカーブが3箇所あるほか(最小曲線半径R=40m)、阿賀野川沿いに細かいカーブが連続しています。また特に揚川トンネル、本尊岩トンネル、麒麟橋は幅員が狭く、大型車のすれ違いが困難となっています。



揚川トンネルですれ違いができず待機する大型車



国土交通省 北陸地方整備局  
新潟国道事務所

〒950-0912 新潟県新潟市中央区南笹口2-1-65  
TEL 025-244-2159(代表) FAX 025-246-7763

URL <http://www.hrr.mlit.go.jp/niiokoku/index.html>



にいこく 検索

国土交通省 北陸地方整備局 新潟国道事務所

平成25年3月作成

# 国道49号 揚川改良

あげかわ

## 事業の概要

事業名：国道49号 揚川改良  
 起終点：東蒲原郡阿賀町津川～東蒲原郡阿賀町黒岩  
 延長：7.5km  
 種級区分：第3種第2級  
 設計速度：60km/h  
 車線数：2車線  
 幅員：W=13.5m (2.0-3.5-3.5-2.0-2.5)

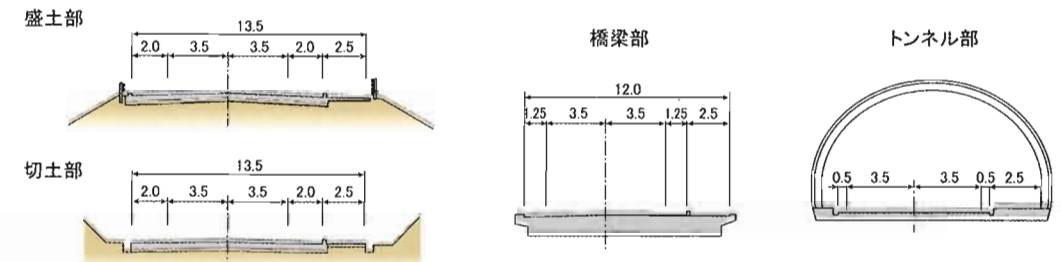
## 事業の経緯

昭和53年度：揚川改良事業化  
 昭和55年度：局部改良工事着手  
 平成4年3月：約200㎡規模の岩石崩落発生（落石防止擁壁、落石防止柵等の対策の実施）  
 平成7年4月：新潟県北部地震の余震により、再び大規模な約5,000㎡規模の岩石崩落発生  
 平成8年度：国道49号本等岩地区防災対策検討委員会  
 →最終結論『恒久的な対策としては、別線ルートで回避する以外にない』  
 別線ルート整備を決定  
 平成12年度：工事着手  
 平成13年度：用地着手  
 平成24年度：揚川改良開通(H25.3.30)



岩石崩落状況（平成7年4月）

## 標準横断図



この地図は、国土地理院長の承認を得て、同院発行の2万5千分の1地形図を複製したものである。(承認番号 平24情複、第830号)

## 主要構造物

※揚川改良の各構造物の名称は、地域のみなさまに決めていただきました。

